

辺野古には、米軍基地よりジュゴンの「保護区」を

辺野古埋め立て土砂搬出反対ニュース

北九州連絡協議会《2016年3月7日・No44》
連絡先…森下宏人 090-9495-3902 八記久美子 080-1730-8895



沖縄や全国の運動におされ、安倍首相が和解受け入れ



3月4日、安倍首相が突然「訴訟の和解を受け入れる」と発言しました。6月の沖縄県議選、7月の国政選挙を前に、いろいろな思惑もあってのことでしょうが、それでも、とにかく辺野古での工事が中断することは本当にうれしいことです。

今回の和解に際し裁判所は、県と国に示した和解勧告文で、国が今後も法廷闘争で「勝ち続ける保証はない」などと指摘しま

した。「辺野古が唯一の選択肢」と固執する安倍首相の態度は、許されるものではありません。新基地建設断念・普天間基地の即時閉鎖・無条件撤去へむけ、さらに、沖縄や全国の皆さんと一緒に頑張りましょう。

安倍首相は7日、「埋め立て承認取り消し」は違法だと、翁長雄志知事に15日まで是正するよう指示しました。和解を受け入れるとしたあと、まだ一度も話し合いもしていないのに、是正の指示を行うなんて、余りにも唐突で誠意のない態度です。

琉球新報・松元剛講演会に 177 人

「沖縄の文化を入り口にして…」など、2部の交流会でも活発な意見交換



1月30日、琉球新報社の松元剛編集局次長の講演会を開催し、沖縄の現状と基地問題の真相を学びました。米軍ヘリの沖縄国際大校舎墜落事故に際し、日本の警察・消防が指一本触れることも出来なかったことなど、沖縄のおかれている現状。安倍首相の親衛隊ともいべき若手議員グループ会合での「沖縄二紙をつぶせ」という作家・百田尚樹発言に対する琉球新報のジ

ャーナリズム精神に立った毅然たる報道姿勢などが印象的でした。

また、講演会終了後開いた賛同者の懇談会(松元さんも参加)では、「これからどんな運動が必要か」をテーマに話し合い、「政治的なことも大事だが、まずは文化を入口として沖縄に触れ、交流しては…」などの意見が出されました。(写真:会場いっぱいの参加者の皆さん)

3.13 さよなら原発集会で署名を取ります。詳細は次号で。

「2.21 止めよう！辺野古埋め立て」国会大包围 報告抜粋

2万8000人ものが参加／辺野古土砂全国協の阿部さんも訴え

「反辺野古土砂搬出首都G」世話人：若槻武行



2.21の国会包围大行動では、辺野古土砂搬出是枝国連絡協議会の阿部悦子さんが挨拶され、主催者と共に署名を呼びかけ、我々はそれに応え、署名用紙の配布と、署名集めを行いました。

この行動に参加した首都圏の仲間は、16名でした。関東や静岡からも結集しました。せっかく国会前に結集しながら、集合場所へ行き着けず、単独で闘われた数人の皆さまもおられました。

署名用紙の配布は実行委員会の確認により、集会の開会前と、阿部さんの挨拶の直後と集会終了後でしたが、土砂とケーソンの説明文付き署名用紙2点セット3000組を配布しました。特に阿部さんの挨拶の後には、参加者がみな積極的に受けと

ってくれました。署名集めは、集会終了後のほんの30分程度しかできなかったけど、これまた協力的で、署名の列ができたこともありました。

集まった署名は、「反土砂搬出」が：743筆、「反ケーソン」が：369筆です。署名活動参加の皆さん、環瀬戸首都圏の皆さま、「反辺野古土砂搬出首都G」の皆さん、そして阿部悦子さん、長時間、お疲れ様でした。

なお、この集会の中で首都圏のグループは、これまでの準備会から、「辺野古新基地埋め立て土砂の九州・瀬戸内など西日本各地からの搬出に反対する首都グループ」、通称「反辺野古土砂搬出首都圏グループ」の結成を正式に決定しました。

今後は、辺野古土砂搬出反対全国協の2種の署名活動と全国協の首都圏行動には積極的に参加するほか、首都圏で行われる反基地関連の集会や街頭行動、国会内外での学習集会の開催や、小豆島視察、沖縄現地の反基地行動への参加などの活動を考えています。皆さま、今後とも宜しくお願いします。



いずれも国会前の様子。下左は挨拶をする阿部さん。右は全国協のメンバー